

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

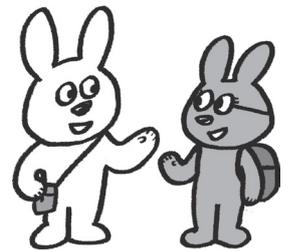
受理番号	学校	教科	種目	学年
105-94	中学校	国語科	書写	第1・2・3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	書写 017-72	中学書写		

1. 編修の基本方針



学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ

自ら問い、考え続け、
社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、
私たちはこの教科書をつくりました。



自ら考え、伝え合い、 生きてはたらく力を育みます。

自分の文字を教材文字と「**比べる**」



課題を見つけ、解決方法を「**見とおし**」取り組む



他の文字に「**活用**」し、一般化する

その過程では、自分でじっくりと考えたり、
仲間との対話をとおして気づいたりする。
そんな学びを促し、支援する教科書です。



特色
1

「書く力」 が身につく

—すべての学びを支える—

「姿勢や持ち方」「基本点画の筆使い」「行書の基本的な書き方」「効果的な文字の書き方」などの基礎・基本を習得することで、よい学習習慣が身につき、各教科の学びを支えます。

特色
2

「学び方」 がわかる

—自ら学びたくなる—

学習過程を明確にすることで、生徒が自ら考え、主体的に学んでいく力を養うことができます。文字を書く原理・原則を見つける力が、他の課題に出会ったときに、解決法を見つける力になります。

特色
3

活用する力 が育つ

—主体的な文字の使い手になる—

日常生活や学習活動における「生きてはたらく確かな書写力」が育成されるように教材構成をしています。
他教科の学習活動や日常生活との関連に配慮しました。

●いつもよい姿勢で学習しよう！

よい姿勢をとるための要所となる「体幹」に着目し、「背筋を伸ばす」から「腰を起こす」ことを習慣化できるようにしました。

POINT
生徒自らがよい姿勢を確認できる観点を提示。

パソコンやタブレットを使うときも、書写で身につけた「よい姿勢」を想起することで、生徒の健康を守ります。



▲p.8 姿勢と用具の使い方

●毛筆用具の置き方は、最初に掲載

いつでも確認できるので、確実な定着を図ることができます。

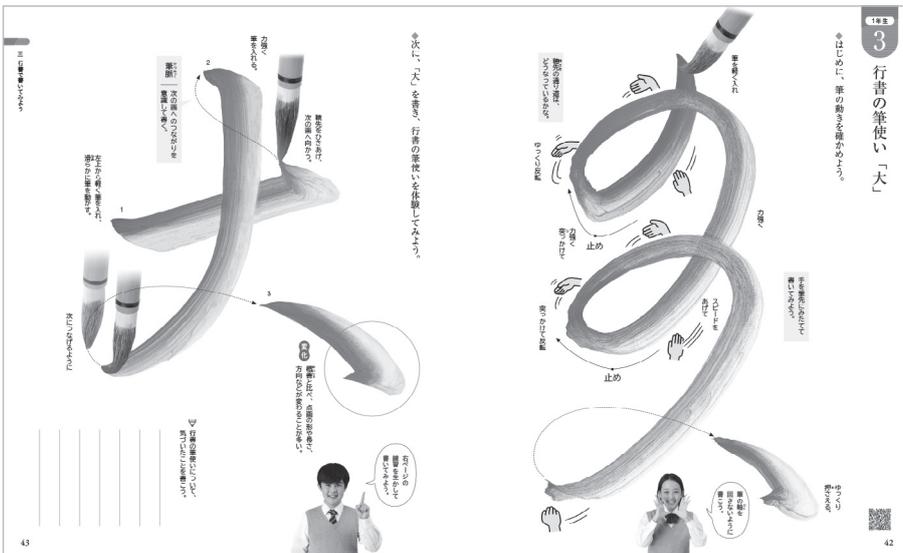
POINT
左利きに配慮した図版を掲載しています。



▲p.8 姿勢と用具の使い方

●「適切に運筆する能力＝行書の基礎的な書き方」を段階的に、丁寧に

筆の動きが体感できる丁寧な導入で、行書の基礎的な書き方＝行書ならではの筆使いの習得を図ります。



▲p.42-43 [1年] 3 行書の筆使い「大」

●穂先の動きが明快で、筆使いがわかる

ほぼ全ての教材において、朱墨と薄墨を使った図版を掲載しています。

【教科書の対応ページ】
※「 」内は毛筆教材名

1年	p.16-17 1 筆使い—基本点画— p.18-19 「天地」 p.26-29 いろは歌 p.42-43 3 行書の筆使い「大」 p.44 「大洋」、p.46 「栄光」 p.48 「平和」
2年	p.66 「白雲」、p.68 「深緑」 p.72 「広がる夢」
3年	p.96 「美しい自然」

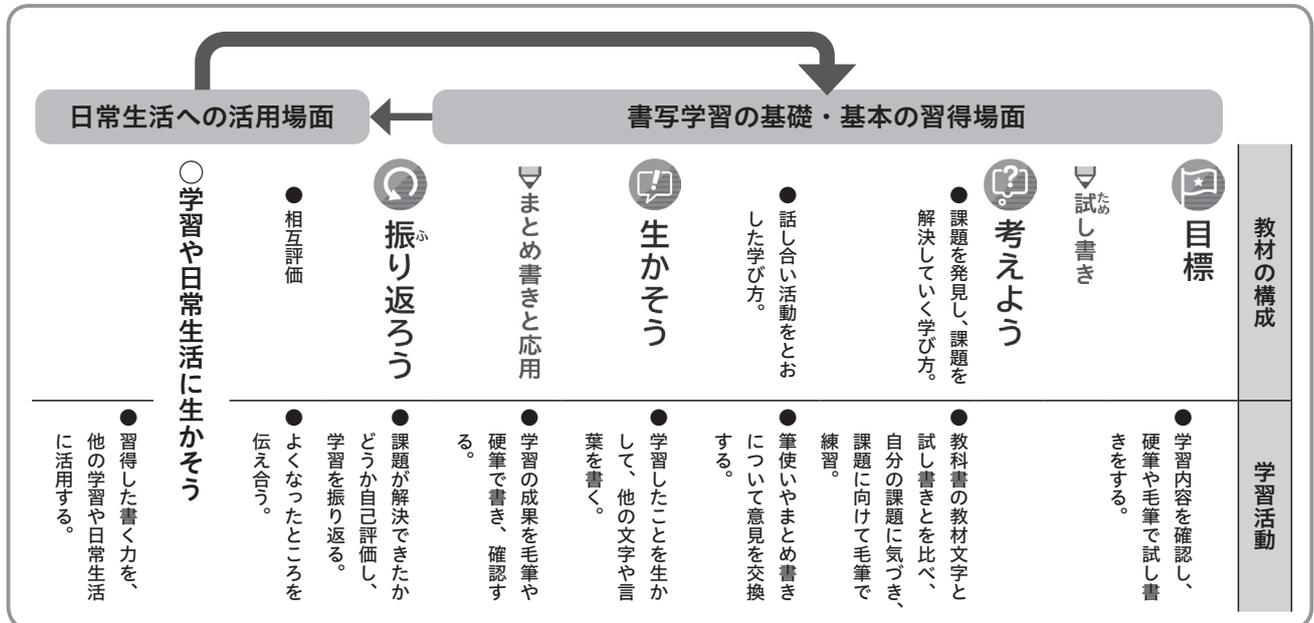


特色
2

「学び方」がわかる —自ら学びたくなる—

● 学習過程がわかる

書写学習の基礎・基本をおさえ、確実に書く力を養い、主体的に学べるよう、教材内容を工夫しています。特に、各単元においては、硬筆・毛筆との関連学習や系統的・段階的な学習が進められるように配慮し、学習の内容や手順を明確にすることで、生徒が意欲的・主体的に学習できるようにしました。



特色
3

活用する力が育つ —主体的な文字の使い手になる—

● 日常生活に生きてはたらく書写力を育成する

1年生では、さまざまな学習活動や社会生活に生かせるように、書写の学習内容に沿ったノートの取り方、レポート、ポスター、本の帯やポップなど豊富な教材を掲載しています。

2年生では、新聞、掲示物、案内状などの例を「学習を生かして書く」の中で取り扱っています。巻末には「書式の教室」として、中学校生活や社会生活に必要な手紙、封筒、一筆箋、年賀状、はがき、往復はがき、

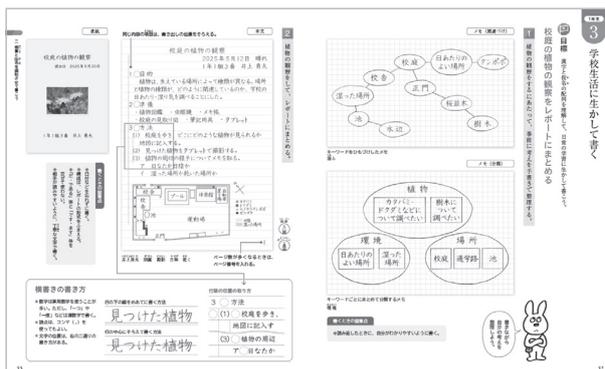
包み紙、エアメール、原稿用紙、小包伝票、願書、志願理由書などの書き方を取り扱い、日常生活に生きてはたらく書写力を育成し、主体的な文字の使い手になるように教材構成しました。

【教科書の対応ページ】

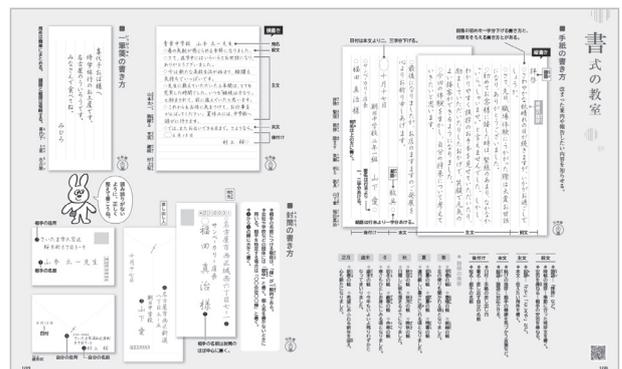
1年 p.14-15 (ノート)、p.34-35 (本の帯、ポップ、ポスター)

2年 p.90-93 (新聞、掲示物、案内状)

全年 p.108-115 (書式の教室)



▲p.32-33 [1年] 3 学校生活に生かして書く



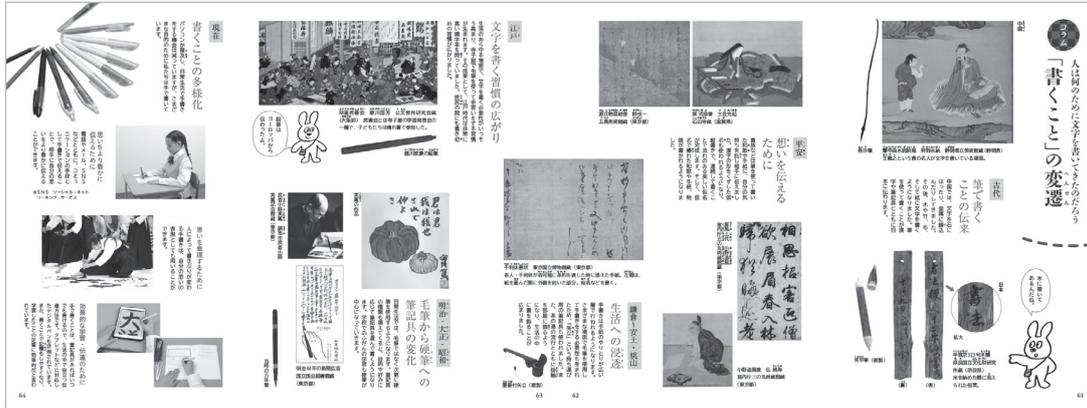
▲p.108-109 書式の教室

● 伝統と文化を尊重し、生徒の文字環境を豊かにする

各学年の硬筆教材として古典教材を取り扱うことで、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心情を育てられるよう配慮しました。また、古代から現在に至るまでの「書くこと」の変遷を扱うコラムによって、我が国の文字文化の系譜を知り、身のまわりの文字環境について理解を深めることができます。

【教科書の対応ページ】

- 1年 p.26-27「いろは歌」、p.30-31『竹取物語』、p.54-56 活字について知ろう、p.61-64「書くこと」の変遷
- 2年 p.74-75「いろは歌」、p.77 短冊「短歌」、色紙「論語」、p.82-83『枕草子』、p.84-85『平家物語』
- 3年 p.98-99『おくのほそ道』



古代から現在までの手書きの変化をビジュアルに展開しています。

▲p.61-64 [1年]「書くこと」の変遷

2. 対照表

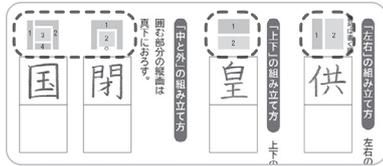
図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
第一学年 一 楷書で書こう 二 楷書と仮名を調和させて書こう 三 行書で書いてみよう 書き初めを書く 第二学年 一 行書で書こう 二 行書と仮名を調和させて書いてみよう 書き初めを書く 第三学年 一 行書と仮名を調和させて書こう 書き初めを書く	<ul style="list-style-type: none"> ○書写学習の基礎・基本を習得することで、幅広い、知識と教養を身につけられるよう配慮しています。〈第1号〉 ○学習過程を明確にすることで、生徒が意欲的、主体的に学習できるよう配慮し、学習の能力を高められるよう配慮しています。〈第2号〉 ○確かな書く力を養うことにより、主体的に社会の形成者として寄与する態度を養えるよう配慮しています。〈第3号〉 ○教材の生徒名、キャラクターの役割、比率は、男女の平等に配慮しています。〈第3号〉 ○教材の言葉は、生命を尊ぶ心の育成や、自然、環境を意識できるよう配慮しています。〈第4号〉 ○古典教材を取り扱うことで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することに配慮しています。〈第5号〉 ○「課題選択教材」を用いることで、自らが課題を設定し、解決に向けて取り組めるよう配慮しています。〈第2号〉 	(全般) p.16-23 p.26-51 p.57-60 p.66-71 p.72-75 p.137-140 p.96-97 p.141-144 p.104-107
第一学年 二 楷書と仮名を調和させて書こう 第二学年 二 行書と仮名を調和させて書いてみよう 三 学習活動や日常生活に生かして書こう 第三学年 二 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう コラム、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○書写で習得した能力を他の学習や社会生活に活用できるよう配慮し、掲示物(ポスター)や新聞、礼状、案内文などを取り上げています。〈第3号〉 ○教材の生徒名、キャラクターの役割、比率は、男女の平等に配慮しています。〈第3号〉 ○教材の語句例、文例は、生命の尊重、環境の保全を促すよう配慮しています。〈第4号〉 ○筆・墨・硯・紙の作り方、生産地を知ることにより、日本の文化への関心が高まるよう配慮しています。〈第5号〉 ○日本の文字の歴史を取り扱うことにより、我が国の伝統と文化を尊重できるよう配慮しています。〈第5号〉 ○長らく伝わってきた日本の文字を鑑賞することにより、伝統と文化を尊重できるよう配慮しています。〈第5号〉 ○学習してきた書写の力が社会の中でどのように活用されているかを知ることにより、社会の形成に参画する意欲を促すよう配慮しています。〈第3号〉 	(全般) p.32-35 p.76-93 p.100-107 p.24-25 p.36-37 p.61-64 p.52-53 p.88-89 p.54-56

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

全ての生徒にとっての学びやすさに配慮

カラーユニバーサルデザイン

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウトを工夫しています。(p.22 など全般)



▲p.22 [1年] 3 学習を生かして書く
一字形、筆順—

ユニバーサルデザインフォント

書写的な観点から見て、手書き文字と近い形で学習できるユニバーサルデザインフォントを使用しています。(全般)

特別支援教育、日本語指導を必要とする生徒等への配慮

基本点画の名称と書き方を確認できるページによって、基礎的な書き方を習得できます。(p.16-17)

人権上の配慮

社会の多様性を踏まえ、イラストや図版を含め教科書内の表現に配慮しています。(全般)

左利きの生徒への配慮

左利きで書く場合の毛筆用具の置き方を掲載。さらに、二次元コードと連動した拡大図版で確認することで、個別最適な学びに配慮しています。(p.8)



ハイブリッドな書写学習



▲p.4 「まなびリンク」を活用しよう

つながる、広がる、 「まなびリンク」

教科書教材がまなびリンク(二次元コード)と連動しています。すべての毛筆教材について、運筆動画を視聴することができます。(p.16、p.18など)



学習者用端末等の活用

発達段階に応じて、学習者用端末等を効果的に活用できる学習活動を設定しています。

デジタル教科書・教材の発行

学習者用デジタル教科書のほか、動画や資料を備えた指導者用デジタル教材、学習者用デジタル教材を発行します。

今日的な教育課題への対応

ESD・SDGsへの取り組み

現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、生徒一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しています。(p.56、p.78、p.104-105など)

カリキュラム・マネジメントへの対応

日常生活や学習活動における「生きてはたらく書写力」が育成できるように、「書式の教室」で、他教科や日常生活で生かせる書式がご覧できます。(p.108-115)

校種間の円滑な接続

小・中・高の関連

小学校で学習してきた「基本点画」「筆圧」「穂先の動き」などの学習は、第1学年の最初で復習できるようにしています。(p.16-17など)

3年生では、高校への円滑な接続を図るために「芸術としての書道」を設けています。

学習者の文字への興味・関心を高める工夫

学習者の文字への興味・関心を高めるために、古くから伝わる伝統的な文字を取り上げています。

巻末「書式の教室」では、キャリア教育につながる礼状の書き方なども取り扱っています。

【教科書の対応ページ】

●キャリア教育

【全学年】 p.108 「書式の教室」手紙の書き方

●高校への接続

【全学年】 p.② 「芸術としての書道」

●文字文化

【1年】 p.24-25 「筆、墨、硯、紙について知ろう」、
p.36-37 「文字の変遷」、
p.38 「1行書学習のはじめに」

【2年】 p.52-53 「あの人が残した文字」、
p.54-56 「活字について知ろう」、
p.61-64 「『書くこと』の変遷」、
p.88-89 「日本建築と『書』」

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-94	中学校	国語科	書写	第1・2・3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	書写 017-72	中学書写		

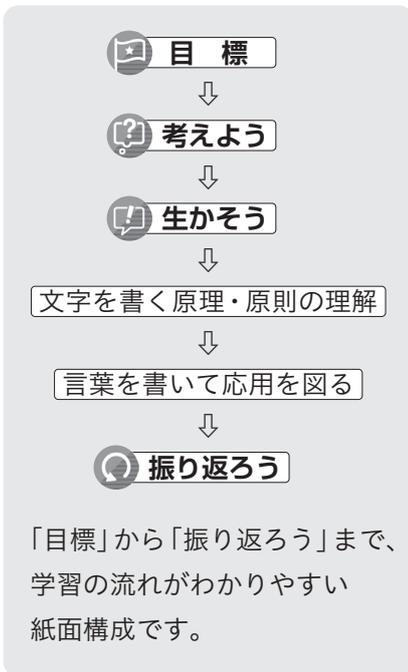
1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色
1

「書く力」が身につく —すべての学びを支える—



学習過程がわかる紙面構成



● 半紙形のイメージがもてる AB判

AB判で横幅が広いので、「単元名」と「教材名」を教材文字の外に掲載できます。半紙形の紙面は教材文字のみですっきりしており、文字に集中して学習することができます。

また、学習内容や手順を大きく見開きで示し、明確にすることで、生徒が意欲的・主体的に学習できるようにしました。

● 考えよう では、書法解説図版で穂先の通り道をわかりやすく。 ▼ p. 46-47 [1年] 点画の連続と変化 2 「栄光」

単元名と教材名は外側に。

教材で学習した文字を熟語で
応用して書き込める欄を掲載。

POINT

- 自らの成長に気づく
「試し書き」と「まとめ書き」

授業の終わりに「まとめ書き」をして「試し書き」と比べて振り返ることで、1時間の授業のなかで自らの成長に気づくことができます。



授業の始めに「試し書き」で自分の課題に気づきます。



特色
2

「学び方」がわかる —自ら学びたくなる—

「どのように学ぶか」学習の見とおしがもてる教科書

● 巻頭に「学習の進め方」を収録

生徒の書字例や活動写真を示すことで、自分の課題を解決していくための具体的な方法がわかり、意欲的・主体的に学習できます。

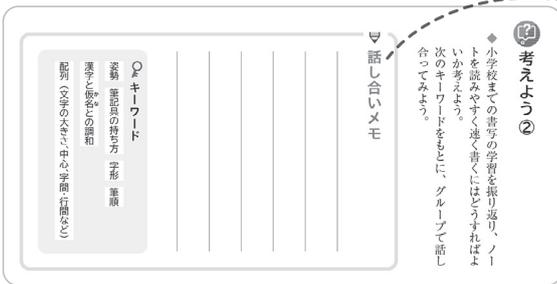
● 系統的に学習できる

巻末に掲載の「書式の教室」「漢字一覧表」「補充教材」などは、各学年、共通で活用することができます。合冊形式のため、学年間の見通しをもち、系統的に学習することができます。



▲ p.10-11 学習の進め方

「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動



▲ p.14-15 [1年] 学習内容を効果的にノートに書こう

随所に「話し合い活動」や気づいたことを書き込ませる書き込み欄を設けています。話し合いの交流活動や気づいたことの書き込み欄を設定することで、「主体的・対話的で深い学び」に向けた学習を促します。

教科書の学びが、広がる、深まる「まなびリンク」

教科書に掲載された二次元コードやURLでページにアクセスするだけで、毛筆教材の運筆動画を見ることができ、運筆のリズムや字形のとり方を確認することができます。

学習に役立つ情報を、ウェブサイトで見ることができます。
<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/ml-jh25/shosha/index.html>



▲ p.3 目次



「個」に応じた学習にも対応

生徒が興味をもって取り組み、生徒自身が主体的に学習し、深めていくことができるように、3年生では「選択課題」教材を設けています。また、一人一人の習熟度、課題に合わせて教材を選び、学習を主体的に進めることができるよう、「補充教材集」には11教材の毛筆教材を設けています。「個」に応じた学習にも対応できるよう、「発展」教材を2年生、3年生に設けています。

【教科書の対応ページ】

● 選択課題教材

[3年] p.104-107 2 三年間の学習の成果を生かそう

● 補充教材集

p.134-136 「創造」「出発」「実現」「古典に学ぶ」「名作」「雲海」「理想」「開花」「有終完美」「旅立ちの朝」「よい言葉の一つは多くの本の一冊に勝る」色紙・短冊

● 発展教材

[2年] p.75 「気持ちのつながりから文字のつながりへ」
p.78-79 「短冊と色紙」、p.94 「書の古典の鑑賞」

[3年] p.② 「芸術としての書道」

検討の観点と内容の特色



検討の観点	内容の特色
1 教育基本法・学習指導要領への対応	
① 教育基本法	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養を身につけることができるよう配慮しています。 めあてを確かめて、その結果を評価する活動を継続することで、自主及び自律の精神を養うようにしています。
② 学習指導要領	<ul style="list-style-type: none"> 書写学習をとおして「社会に開かれた教育課程」を実現するために、「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養を柱として、主体的に学習に取り組み、課題解決を図れるよう編集しています。
2 内容の範囲・分量・程度	
① 教材の範囲・分量	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の教材は、年間20(1年)、20(2年)、10(3年)単位時間程度で、限られた時数のなかでも、過不足なく学習効果が得られるよう工夫をしています。
② 硬筆教材・毛筆教材の内容と程度	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階や語彙・言語環境などを考慮して、言葉としても適切で、学習要素が理解しやすい文字や語句を選定しています。
③ 硬筆教材・毛筆教材の書風	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の漢字配当表に示された字体を拠りどころにし、穏健・中正を心がけ、生徒にとって書きやすいものとしています。
3 組織・配列	
① 全体の構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の配当時間、発達段階、教材間の連携をふまえて、無理のない教材配列を設定しています。
② 基礎・基本の確実な定着	<ul style="list-style-type: none"> 文字の書き方の秩序性を習得するために、姿勢・執筆や運筆方法、字形の整え方などの、基礎・基本が確実に習得できるよう構成されています。(p.8など全般)
③ カリキュラム・マネジメントへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 「学習を生かして書く」の教材では、習得した書写力を他教科や日常生活に活用できるように関連を図っています。
④ 国語科国語との関連	<ul style="list-style-type: none"> 硬筆教材について、国語で学習した文学教材などから設定し関連を図るとともに、言語としての響きや豊かさを考慮しています。
⑤ 小学校との円滑な連携	<ul style="list-style-type: none"> 小学校で学習する「基本点画」「筆圧」「穂先の動き」などの学習は、1年生の第一教材で復習できるようにしています。(p.16-17)
4 特色・工夫	
① 適切に運筆する能力を高める	<ul style="list-style-type: none"> よい姿勢を保ち、効率のよい鉛筆や筆の持ち方ができるよう配慮しています。(p.8-9) 穂先の通り道を朱墨で明快に示しています。(p.16-17など全般)
② 主体的に学習に取り組める	<ul style="list-style-type: none"> 学習ステップがわかるアイコンを提示することで、生徒自らが学習過程を理解できるようにしています。(p.10-11など)
③ 多様な文字文化への関心を高める	<ul style="list-style-type: none"> コラムでは、字源や身のまわりの文字を扱うことで、文字への興味・関心を高めるようにしています。(p.54-56、61-64)
④ デジタル機器を活用した学習	<ul style="list-style-type: none"> 学習時に参照できる運筆動画などを、ウェブサイトで見られるようにしています。(p.4など)
⑤ ESD・SDGsへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、生徒一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しています。(p.56、78、104-105など)
5 表記・表現	
① 文章表現・表記・用語	<ul style="list-style-type: none"> 文章表現は平易で簡潔であるとともに、運筆方法は伝わるように、具体的な言葉で示しています。
② 書体	<ul style="list-style-type: none"> 書写的な観点から見て、手書き文字と近い形で学習できるユニバーサルデザインフォントを使用しています。(全般)
③ 紙面デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 見開きを基本とした見やすく使いやすいレイアウトにしています。
④ カラーユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウトを工夫しています。(p.22など全般)
⑤ 特別支援教育、日本語指導を必要とする生徒等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 基本点画の名称と書き方を確認できるページによって、基礎的な書き方を習得できます。(p.16-17)
⑥ 人権上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> 社会の多様性を踏まえ、イラストや図版を含め教科書内の表現に配慮しています。(全般)
⑦ 左利きの生徒への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 左利きで書く場合の用具の置き方を掲載。さらに、二次元コードと連動した拡大図版で確認することで、個別最適な学びに配慮しています。(p.8)
6 印刷・造本	
① 造本印刷・表紙	<ul style="list-style-type: none"> 表紙には、抗菌加工と撥水コーティングを施し、墨や汚れに強い堅牢な造本となっています。 書き文字や、図、写真などの印刷は、鮮明で目にやさしいものとなっています。
② 紙・判型	<ul style="list-style-type: none"> 紙の強度を維持しつつ、できるだけ軽量の紙を使用しています。 文字をできるだけ大きく見られるよう AB判サイズにしています。

2. 対照表

第1学年(20時間)

教科書の単元配列	配当 時数	学習指導 要領の内容	ページ
□目的に合わせて書こう	適時	ア、イ	①-1
目次	適時	ア、イ	2-3
「まなびリンク」を活用しよう	適時	ア、イ	4
知りたい! さまざまな筆記具	適時	ア、イ	5
詩「ふしぎ」金子みすゞ	適時	ア	6-7
□姿勢と用具の使い方	適時	ア、イ	8-9
□学習の進め方	適時	ア、イ	10-11
□書写をとおして学んでいくこと	適時	ア、イ	12
扉 第一学年	適時	ア、イ	13
□学習内容を効果的にノートに書こう	適時	ア、イ	14-15
一 楷書で書こう	4		
1 筆使い—基本点画—		ア	16-17
2 筆使いと字形「天地」		ア	18-20
3 学習を生かして書く—字形、筆順—		ア	22-23
□筆、墨、硯、紙について知ろう	適時	ア、イ	24-25
二 楷書と仮名を調和させて書こう	4		
1 楷書に調和する仮名「いろは歌」		ア	26-27
2 学習を生かして書く—配列— 『竹取物語』		ア	30-31
3 学校生活に生かして書く 校庭の植物の観察をレポートにまとめる お薦めの本の帯やポップを作る ポスターを書く(ポスターセッション用)		ア	32-33
	適時	ア	34
	適時	ア	35
□文字の変遷	適時	ア、イ	36-37
三 行書で書いてみよう	9		
1 行書学習のはじめに		イ	38-39
2 楷書と行書の違い「和」		イ	40-41
3 行書の筆使い「大」		イ	42-43
4 点画の連続と変化1「大洋」		イ	44-45
5 点画の連続と変化2「栄光」		イ	46-47
6 点画の連続と省略「平和」		イ	48-49
7 学習を生かして書く—行書の特徴—		イ	50-51
□あの人が残した文字	適時	ア、イ	52-53
□活字について知ろう	適時	ア、イ	54-56
□書き初めを書く 「新たな決意」「伝統文化」	3	ア、イ	57-60
□「書くこと」の変遷	適時	ア、イ	61-64

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

(3) 我が国の言語文化に関する事項

○書写

第1学年

エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

(ア) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。

(イ) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。

第2学年

ウ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

(ア) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。

(イ) 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。

第3学年

エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

(ア) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。

第2学年(20時間)

教科書の単元配列	配当 時数	学習指導 要領の内容	ページ
扉 第二学年	適時	ア、イ	65
一 行書で書こう	6		
1 点画の省略「白雲」		イ	66-67
2 筆順の変化「深緑」		イ	68-69
3 学習を生かして書く—行書の特徴—		イ	70-71
二 行書と仮名を調和させて書いてみよう	7		
1 行書と仮名の調和「広がる夢」		ア	72-73
2 行書に調和する仮名「いろは歌」		ア	74-75
3 文字の大きさと配列		ア	76-78
□短冊と色紙	適時	ア	79
4 書く速さを意識して書く『走れメロス』		ア	80-81
5 学習を生かして書く—行書と仮名の 調和と配列—『枕草子』『平家物語』		ア	82-85
三 学習活動や日常生活に生かして書こう	4		
1 さまざまな書く場面		ア、イ	86-87
□日本建築と「書」	適時	ア、イ	88-89
2 学習を生かして書く 新聞を書く		ア、イ	90-91
掲示物(ポスター)に案内を書く		ア、イ	92
案内状を書く		ア、イ	93
□書の古典の鑑賞	適時	ア、イ	94
□書き初めを書く 「宇宙への旅」「生命の尊重」	3	ア	137-140

第3学年(10時間)

教科書の単元配列	配当 時数	学習指導 要領の内容	ページ
扉 第三学年	適時	ア	95
一 行書と仮名を調和させて書こう	5		
1 行書と仮名の調和「美しい自然」		ア	96-97
2 学習を生かして書く—配列— 『おくのほそ道』		ア	98-99
二 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書く	2		
1 多様な表現による文字		ア	100-103
2 三年間の学習の成果を生かさそう		ア	104-107
□書き初めを書く 「環境を守る」「真理の探究」	3	ア	141-144
□書式の教室	適時	ア	108-115
書写テストで確認	適時	ア	116-117
書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう	適時	ア	118-120
□小学校で学習した漢字一覧表	適時	ア	121-127
□中学校で学習する漢字一覧表	適時	ア	127-133
□補充教材集	適時	ア	134-136
□芸術としての書道	適時	ア	②

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-94	中学校	国語科	書写	第1・2・3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	書写 017-72	中学書写		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
75	気持ちのつながりから文字のつながりへ	1	第2学年 ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。	0.5
79	短冊と色紙	1	第2学年 ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。	1
88-89	日本建築と「書」	1	第2学年 ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。	2
94	書の古典の鑑賞 ^{かんしやう}	1	第2学年 イ 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。	1
②	芸術としての書道	1	第3学年 ア 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。	1
合計				5.5

(備考) 「類型」欄の分類について。

- ・学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容…… 1
- ・学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容…… 2